

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 宮城県白石市立深谷小学校 (※正式名称を記載)
種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫^{※注1}
 中学校 中高一貫^{※注2} 高等学校
 教員養成大学 専修学校、各種学校
 特別支援学校
 その他 (例：小中高一貫)
所在地 〒989-0731
E-mail info@fukaya-e.shiroishi-c.ed.jp
Website http://fukaya-e.shiroishi-c.ed.jp/
幼児児童生徒数 男子 32名 女子 23名 合計 55名
幼児・児童・生徒の年齢 6歳～12歳

※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

2. 報告期間

平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月

※報告書提出時点～平成 30 年 3 月末までの活動は、予定 (見込み) として記載ください。

3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要 (800 字程度+活動内容を表す写真数枚)

※チェック事項 1-1、2-1 に対応

本校は、「みんなの幸せのために、ふるさとの自然や伝統を受け継ぎ、仲間とともに伝えていこう」を ESD の活動テーマとして、ESD の実践を通して、人格の発達や自立心、判断力、責任感などの人間性を育むとともに、他人との関係性、社会との関係性、自然環境との関係性を認識し、「関わり」「つながり」を尊重できる児童を育成することを目標とした。

具体的には、生活科や総合的な学習の時間の活動を柱に、①伝承に係わる活動、②緑化活動、③福祉に係わる学習、④地域のお年寄りとの交流学习を行った。

① 伝承に係わる活動

今年も全校児童が伝統である笠松太鼓に取り組み、2 月の感謝の会で保護者や、地域の方々に披露した。地域の方々もこの伝統的な活動に対して期待しており、全校児童が取り組む姿に感動していただく等、すばらしい取り組みとなっている。また、5 学年児童が、地域に伝わる神楽に取り組み、地域

の方々に教えていただきながら練習を重ね、学習発表会で披露する機会となっている。保護者・地域の方々も毎年楽しみにしている。

② 緑化活動

本校は全員が「緑の少年団」に所属しており、毎年、5月の連休には、白石市みどりの少年団の一員として、緑化木の配付や緑の花募金に参加している。さらには、学校代表として6学年児童が7月末に県の大会に参加し、植樹体験をするなど、全校で緑化活動に取り組んでいる。

③ 福祉に係わる学習

4年生は、総合の時間で、市の社会福祉協議会の方々の協力をいただき、白杖体験や車いす体験を通して、福祉に対する学習を行った。毎年のことではあるが、それぞれの年で工夫をし、児童の福祉の心を育てている。

④ 地域のお年寄りとの交流学习

今年も、1、2年生が地域の老人会に来校していただき、年2回のふれあい活動をしている。1回目は体育館で昔の遊びを老人会の方々に教えていただきながら楽しく遊び、2回目は各教室で児童がグループ毎に考えた遊びを一緒に行うことによりふれあいの活動を行った。子どもたちもお年寄りの方も楽しい時間となった。

① (太鼓引継式)



② (みどりの少年団募金活動)



③ (車いす体験)



④ (ふれあい活動)

(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input checked="" type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input checked="" type="checkbox"/> 17. その他()		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入)	

ウ. 活動時間 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input checked="" type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述)	

エ. 使用した教材 (書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名)

盲導犬 社会で活躍するイヌたち 歌でおぼえる手話ソングブック

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

ユネスコスクールの活動については、「生活科」と「総合的な学習の時間」に位置付けている。指導内容については、各学年ごとに毎年変更せずに6年間を通して、全児童が学習するように適切に設定している。課題が残った点については、年間2回ある反省会において意見を出し合い、微調整を図っている。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

教育計画に全体像を示し、年度初めに全職員が確認する時間を設定することにより組織的かつ継続的な取り組みになるよう努めている。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

年間2回の反省会を充実させ、いかに児童に力が付くのかを意識しながら取り組む事により、よりよい活動になるようにしている。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

協働教育・学校支援ボランティアを ESD の推進拠点ととらえ、ボランティア通信(おたより)等を活用しながら積極的に活用している。学校支援ボランティアの方々は協力的であり、学校との関係は良好である。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)
(200字程度) ※チェック事項 2-3 に対応

地域に児童館がないため、年50回程度の子ども教室を「地域青少年健全育成協議会」が担当し運営している。本校の体育館を活用しているためもあるが、本校児童のほとんどが利用している。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度) ※チェック事項 2-4 に対応

本校を含め、中学校区の3校が協同して話し合う機会(交流会)を設定するなどのネットワークを形成している。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒，教員，カリキュラム・教授法，学校経営，地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）
※チェック事項 2-5 に対応

学校と地域・保護者の関係について、今年度だけのことではないが、地域との密接な関係が長年続いており、学校に対する地域・保護者との関係が良好である。

- (3) 平成 30 年度の活動計画（200～400字程度）

これまでに述べてきた活動の他に、3 学年の米づくりの活動がある。この活動も継続してきたものであるが、地域の農家，JA の方々，保護者，地域の方々の力をお借りしながら取り込む約半年間の活動である。種まきから始まり，収穫した米の等級検査の体験，そして米を使った料理作りまでの活動である。30 年度は，3 年生だけではなく，他の学年まで何らかのつながりを持たせた活動にしていければと考えている。